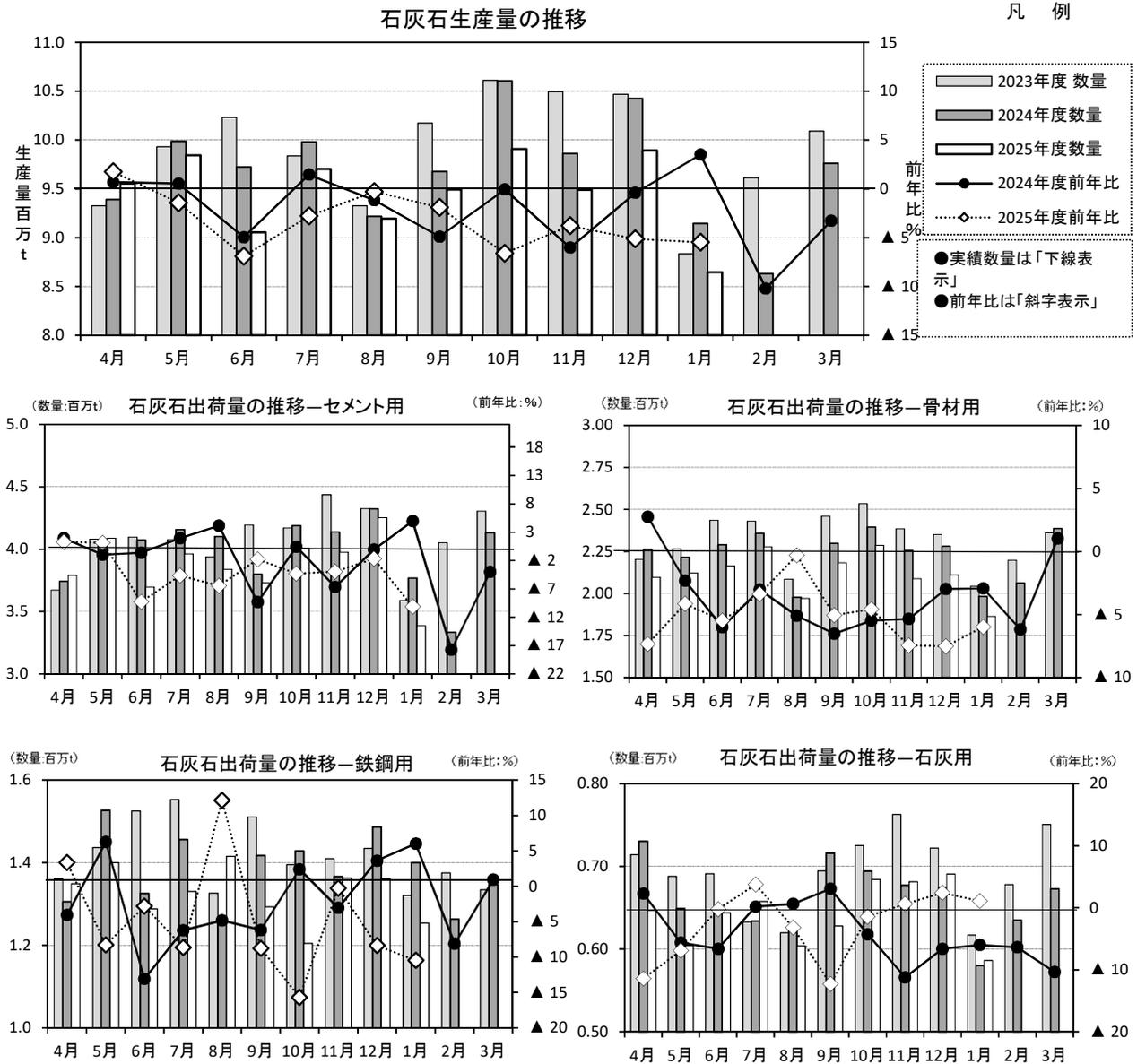


1. 石灰石の需給状況—2026年1月(速報)

- ①生産量は8.6百万トﾝ、対前年比▲5.5%で、9ヶ月連続のマイナス。
- ②出荷量は8.4百万トﾝ、対前年比▲8.4%で、5ヶ月連続のマイナス。
- ③用途別では、
  - セメント用は339万トﾝ(▲10.1%)で、8ヶ月連続のマイナス。
  - 骨材用は187万トﾝ(▲6.0%)で、10ヶ月連続のマイナス。
  - 鉄鋼用は125万トﾝ(▲10.5%)で、5ヶ月連続のマイナス。
- ④輸出は48.6万トﾝ(▲1.9%)で、2ヶ月連続のマイナス。

(注)数量及び前年比は下のグラフに表示していますが、詳細は「月例需給データ」を参照ください。



(注1)協会の石灰石需給統計は経済産業省統計に協会員連続統計を加味して算定。また、「石灰用」は会員統計より推計算定の上、経産省統計「その他用」より分離表示している。  
 (注2)速報値は当協会会員統計(実績値)より推計算定している。

2. 石灰石需要家業界の需給状況—2026年1月

■セメント

- ①生産量は329万トﾝ(▲6.6%)で、5ヶ月連続のマイナス。
- ②国内販売量は225万トﾝ(▲5.4%)で、41ヶ月連続のマイナス。
- ③輸出は74.4万トﾝ(17.7%)で、プラスに転じた。

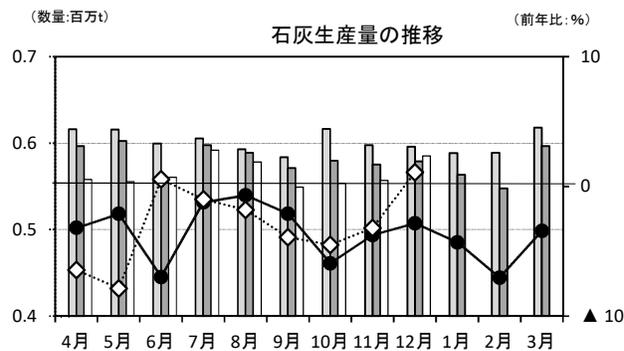
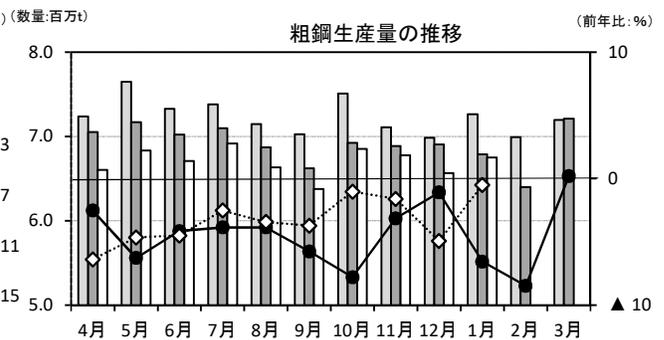
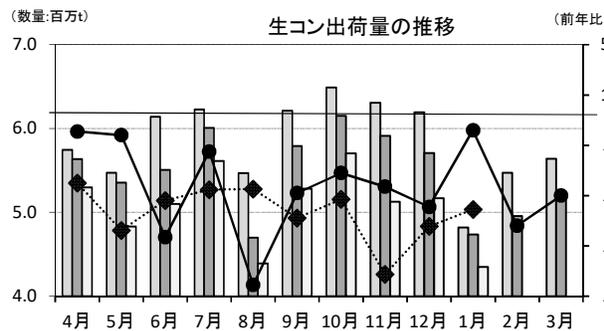
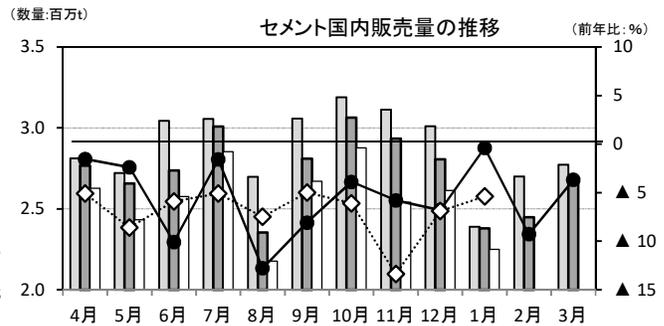
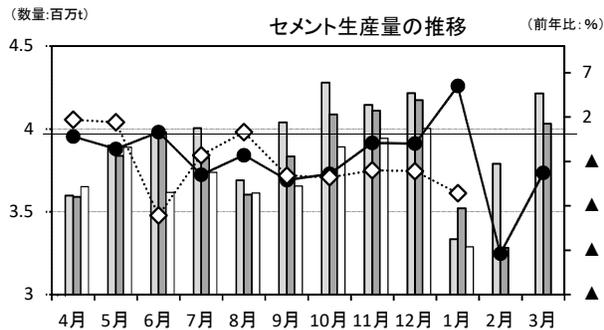
■生コン

- ①出荷量は435万m3、(▲8.1%)で、41ヶ月連続のマイナス。

■鉄鋼

- ①粗鋼生産量は675万トﾝ(▲0.5%)で、10ヶ月連続のマイナス。

(注)数量及び前年比は下のグラフに表示していますが、詳細は「月例需給データ」を参照ください。



地区	セメント国内販売				生コン出荷量				
	1月	前年比	2025年度	前年比	地区	1月	前年比	2025年度	前年比
北海道	78	▲1.7	1,442	▲1.2	北海道	162	▲2.0	2,656	▲3.7
東北	134	▲8.3	1,787	▲7.5	東北	219	▲9.6	3,278	▲4.6
関東1区	591	▲3.9	6,336	▲5.9	関東1区	1,227	▲8.4	13,361	▲8.6
関東2区	206	▲7.9	2,312	▲8.5	関東2区	320	▲15.0	3,912	▲11.3
北陸	71	▲9.2	1,108	▲5.3	北陸	135	▲10.1	2,212	▲3.3
東海	275	▲7.6	2,957	▲8.8	東海	564	▲9.3	6,186	▲9.5
近畿	344	▲2.9	3,818	▲7.0	近畿	658	▲4.1	7,503	▲9.6
四国	79	▲5.1	814	▲6.6	四国	169	▲10.5	1,811	▲10.0
中国	132	▲10.7	1,491	▲8.9	中国	239	▲7.0	2,724	▲8.6
九州	285	▲4.3	2,982	▲8.4	九州	557	▲6.6	6,094	▲8.7
沖縄	53	▲7.5	568	▲7.8	沖縄	100	▲10.0	1,121	▲6.6
全国	2,249	▲5.4	25,615	▲6.9	全国	4,349	▲8.1	50,859	▲8.4

(注)セメント(含む速報値)はセメント協会、生コンは全生連、粗鋼・石灰は経産省統計による。粗鋼の速報値は鉄鋼連盟による。